

概要版

第 8 期

知多北部広域連合 介護保険事業計画

令和3年度（2021年度）～令和5年度（2023年度）



令和3年（2021年）3月

知多北部広域連合

（東海市・大府市・知多市・東浦町）

●計画策定の背景と趣旨

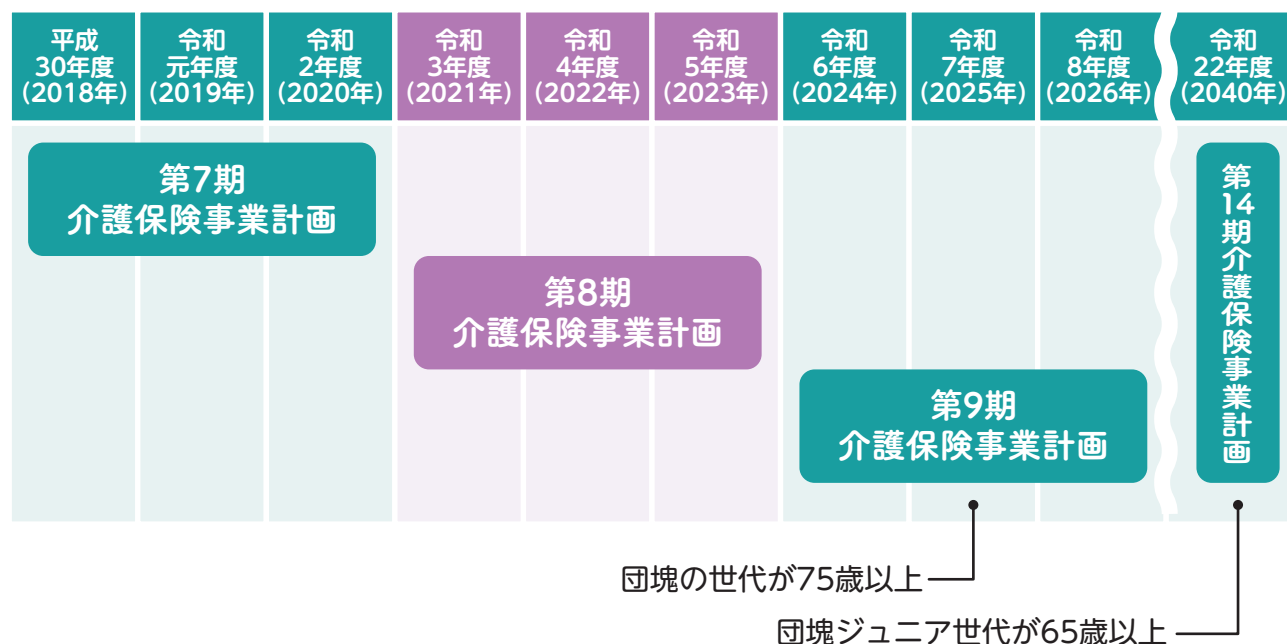
わが国では、世界的に例を見ないスピードで高齢化が進んでおり、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になる令和7年（2025年）には、4人に1人が75歳以上となる社会を迎えます。総務省統計局によれば、令和2年（2020年）9月15日現在の全国平均の高齢化率は28.7%となっており、持続可能な社会保障制度の構築に向けた様々な課題や、人口減少と超高齢化による経済の停滞など、将来の生活への不安が増大しています。さらには、ひとり暮らし高齢者世帯の増加や地域コミュニティの変化によって、住民相互のつながりが希薄化しているといわれており、地域において高齢者を支える新たな仕組みづくりが必要となっています。

また、介護保険制度については、平成12年（2000年）に社会全体で高齢者介護を支える仕組みとして創設され、広く定着しましたが、高齢者数の増加、サービス利用の大幅な伸びにより費用の増大が続いています。国では、「支える側」、「支えられる側」という従来の関係性を超えて、一人ひとりが生きがいや役割をもち、助け合いながら暮らしていくことのできる「地域共生社会」の構築を目指しています。

知多北部広域連合（以下「広域連合」という。）においても、「第7期介護保険事業計画」の計画期間が終了することに伴い、新たに「第8期介護保険事業計画」（以下「本計画」という。）を策定しました。

本計画においては、令和7年（2025年）を目指した地域包括ケアシステムの更なる充実、現役世代が急減する令和22年（2040年）の双方を念頭に置き、また今期は特に新型コロナウイルス感染症や災害等の対策も考慮するなど、持続可能な制度運営ができるように広域連合を構成する東海市・大府市・知多市・東浦町（以下「関係市町」という。）の地域資源を活かし、3市1町が一丸となって事業を実施していくための指針として本計画を策定しました。

●計画の期間

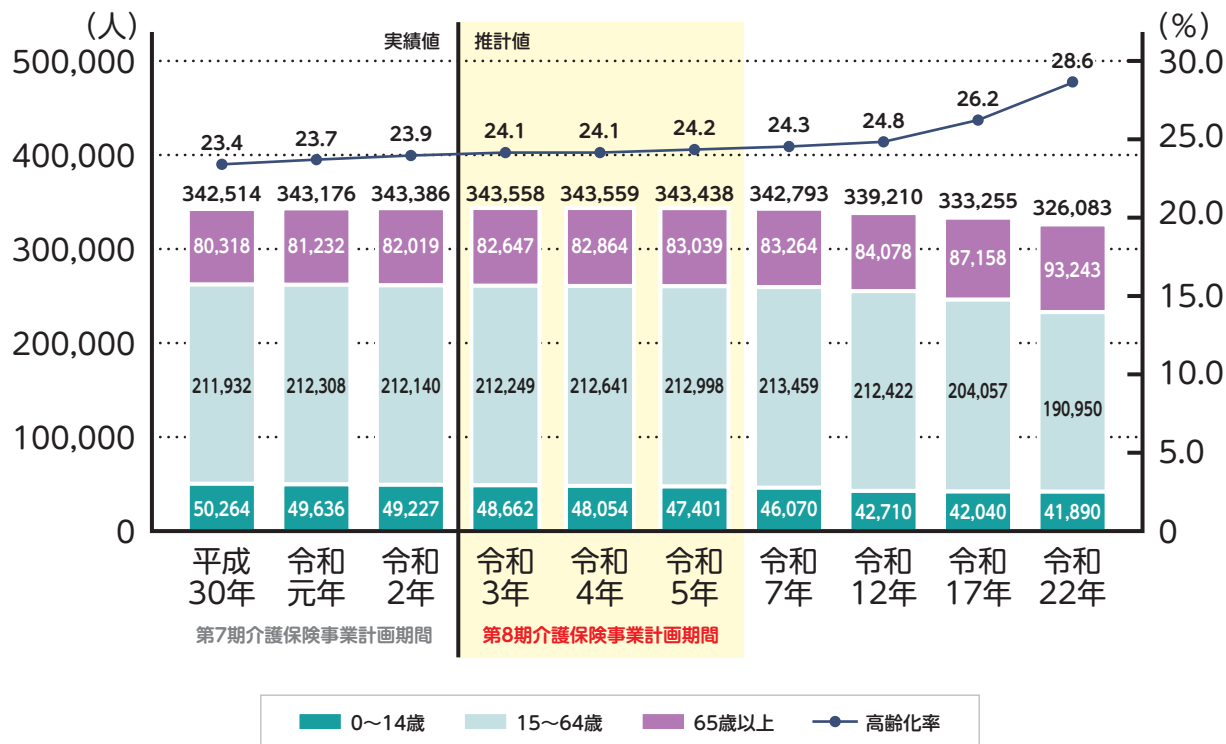


●高齢者を取り巻く現状と推計

総人口は緩やかな増加傾向にあり、令和2年（2020年）10月1日現在で343,386人となっています。推計値において、令和4年（2022年）をピークに年々減少すると見込まれており、本計画の最終年度である令和5年（2023年）では、343,438人となっています。

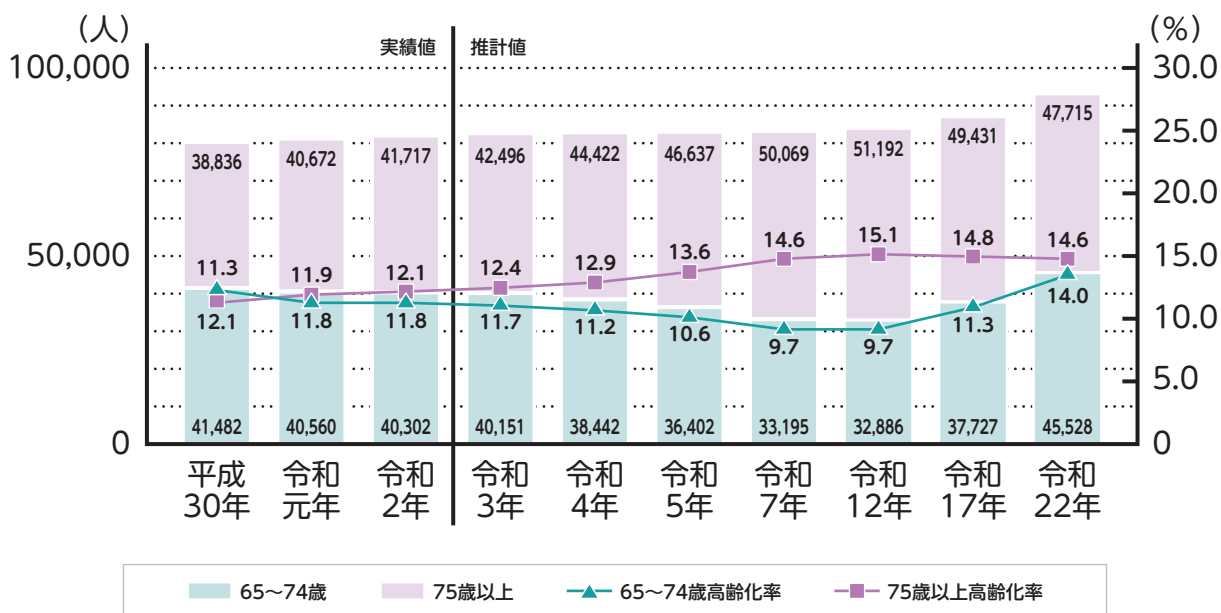
年齢別でみると、高齢者（65歳以上）人口は、令和2年（2020年）では82,019人となっており、今後も増加傾向にあると予測されています。総人口は減少傾向にあるため、65歳以上人口割合、すなわち高齢化率は増加傾向にあります。

■総人口、高齢者人口の推移



■前期高齢者と後期高齢者の比較

資料：住民基本台帳（各年10月1日現在）

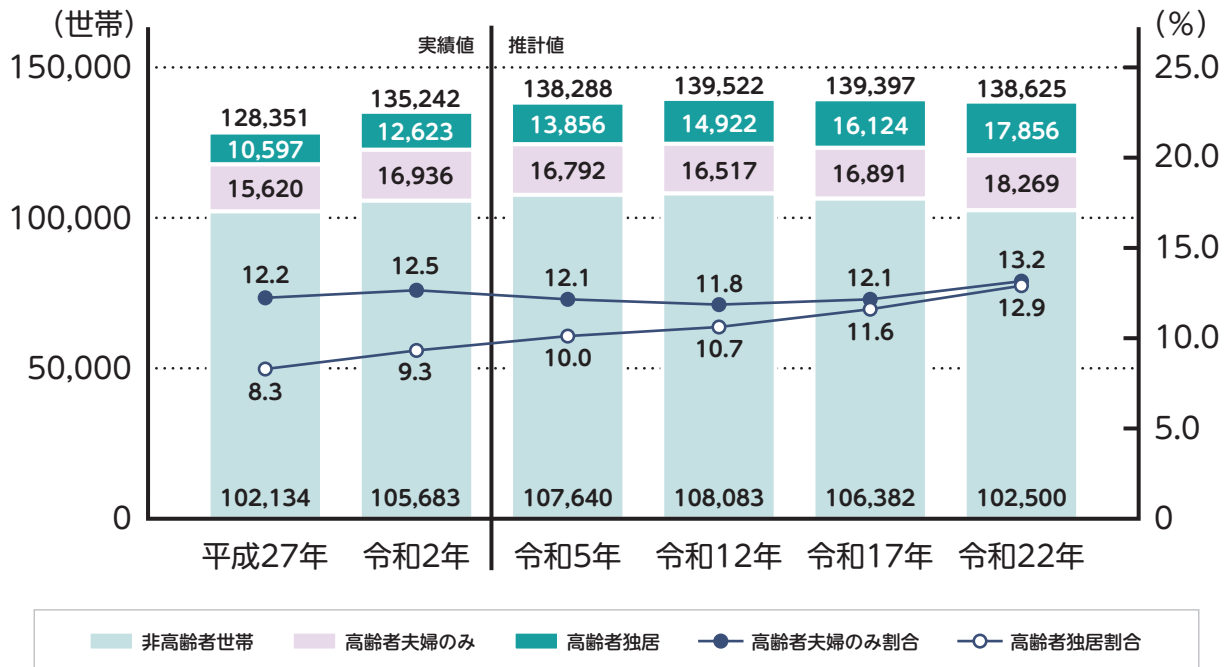


●高齢者世帯数の推計

世帯総数は今後微増から横ばいへと推移していきませんが、高齢者独居世帯の割合は増加していくことが予想されます。

■各高齢者世帯数の推計

資料：G空間情報センター

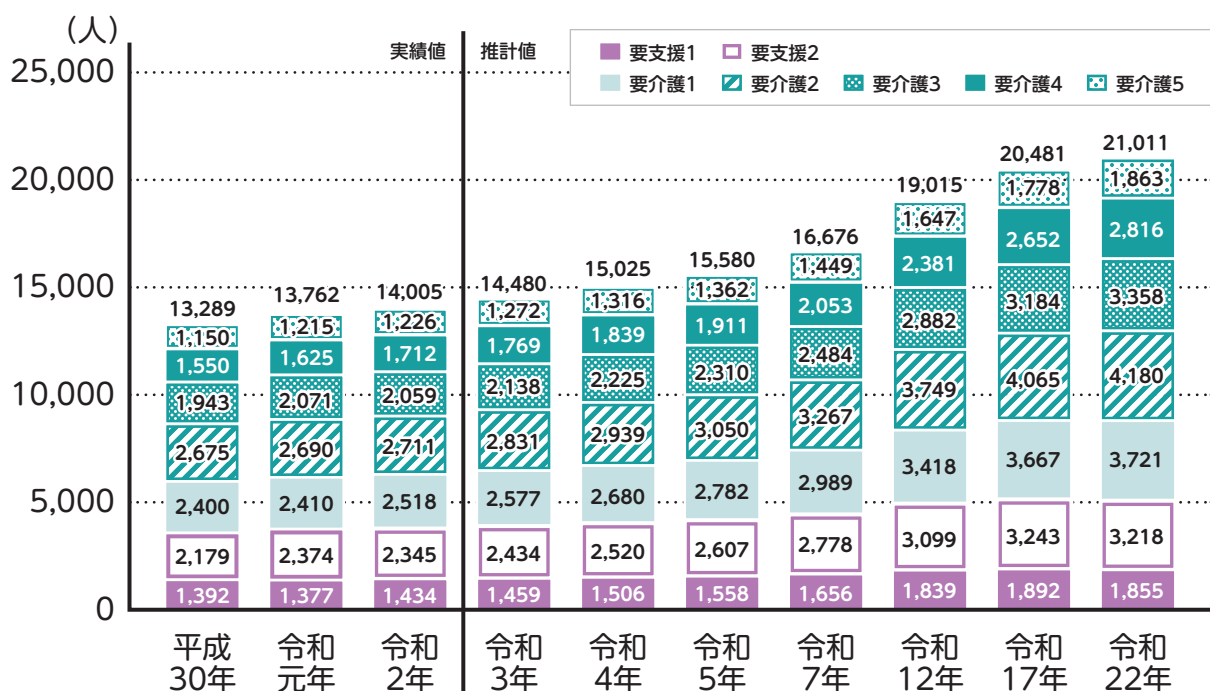


●要介護認定者数の推計

要介護等認定者数の推移をみると、横ばい傾向にあり、令和2年（2020年）9月末現在14,005人となっています。また、認定率は増加傾向にあり、令和2年（2020年）9月末現在16.6%となっています。

■要介護（要支援）認定者数の推移

資料：見える化システム（各年9月末現在）



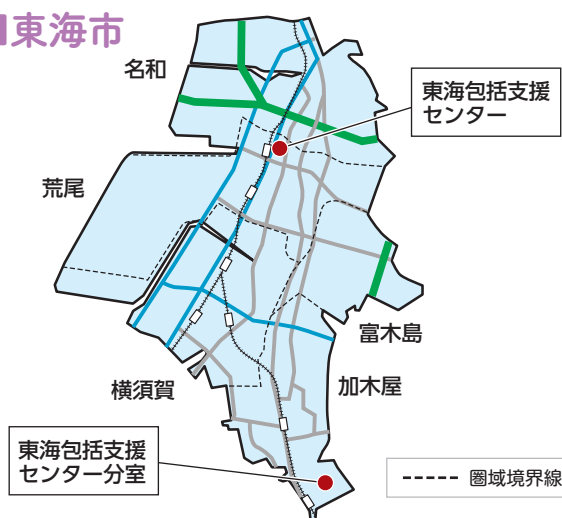
● 日常生活圏域と高齢者相談支援センター

広域連合では、地域包括支援センターについて、その業務内容がイメージしやすいよう、「高齢者相談支援センター」の名称で、広く住民への周知を図っています。

高齢者相談支援センターは、地域の最前線に立ち、高齢者の総合相談、権利擁護、介護予防のケアマネジメント及び地域ケア会議等を通じた各種支援等を業務とする、地域包括ケアシステムの中核的な機関です。

市町名	圏域	名称	法人名	所在地
東海市	名和 荒尾 富木島 横須賀 加木屋	東海包括支援センター	社会福祉法人 東海市 社会福祉協議会	東海市荒尾町西廻間2番地の1 東海市しあわせ村 健康ふれあい交流館内
		東海包括支援センター分室		東海市加木屋町南鹿持27番地の1 東海市加木屋デイサービスセンター内
大府市	大府中 大府北 大府西 大府南	大府包括支援センター	社会福祉法人 大府市 社会福祉協議会	大府市江端町六丁目13番地の1 大府市ふれ愛サポートセンタースピカ内
		大府包括支援センター東分室		大府市東新町一丁目219番地 大府市社会福祉協議会内
知多市	八幡 中東 知多 旭	知多包括支援センター	社会福祉法人 知多市 社会福祉協議会	知多市新知字永井2番地の1
東浦町	東浦中 中部中 西部中	東浦包括支援センター	社会福祉法人 東浦町 社会福祉協議会	東浦町大字石浜字岐路28番地の2 東浦町勤労福祉会館2階

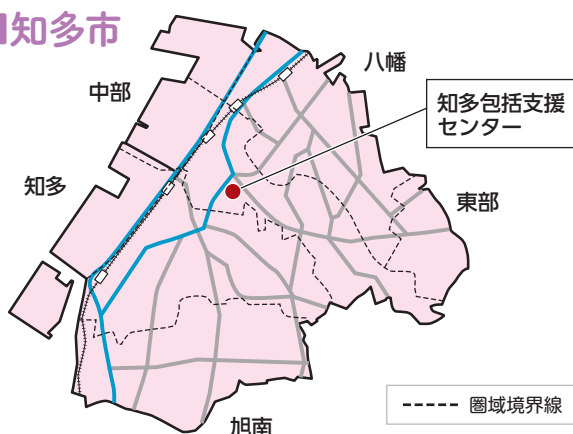
■ 東海市



■ 大府市



■ 知多市



■ 東浦町



●計画の基本理念

…… 基本理念 ……

住み慣れた地域で暮らし続けるために

これは、全ての人が、住み慣れた地域の中で、温かい心配りを受けて心豊かに暮らしながら、互いに人生の中で培った経験を発揮し、地域全体の力となっている社会を表しています。地域に住む人が「支える側」と「支えられる側」という画一的な関係ではなく、お互いに支え合う社会です。

団塊の世代が75歳以上を迎える令和7年（2025年）に向けて、住まい・医療・介護予防・生活支援が、多職種の連携と住民同士の支え合いにより包括的に確保される「地域包括ケアシステム」を推進していくことが求められています。誰もが地域の課題を「我が事」としてとらえ、多様化、複合化する課題に「丸ごと」対応できる包括的な支援体制の確立を目指します。また、この基本理念を実現するため、各基本目標に取組や指標を設定し、進捗管理を行います。

●施策の体系

<基本理念>

<基本目標>

<施策の方向>

住み慣れた地域で暮らし続けるために

基本目標 ①

健康づくりと
介護予防の推進

- ① 総合的な自立支援・介護予防・重度化防止の推進
- ② 身近な地域における介護予防の推進
- ③ 専門職種等を活用した介護予防機能の強化
- ④ 介護予防の効果的・効率的な取組

基本目標 ②

地域で支え合う
仕組みづくり

- ① 高齢者相談支援センターの体制強化
- ② 在宅医療と介護連携の推進
- ③ 認知症施策の推進
- ④ 日常生活を支援する基盤整備
- ⑤ 家族介護者への支援

基本目標 ③

自立に向けた
介護サービスの
安定提供

- ① 介護サービス基盤の整備
- ② 介護人材の確保と資質の向上
- ③ 給付適正化
- ④ 高齢者の住まいの安定的な確保
- ⑤ 災害・感染症への備え